

平成26年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年6月27日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 シーズメン

コード番号 3083 URL <http://www.csmen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 青木 雅夫

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長

(氏名) 保住 光良

TEL 03-5623-3781

四半期報告書提出予定日 平成25年7月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第1四半期の業績(平成25年3月1日～平成25年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第1四半期	1,679	△6.1	△6	—	△8	—	△3	—
25年2月期第1四半期	1,789	5.2	101	153.5	98	183.6	49	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第1四半期	△379.96	—
25年2月期第1四半期	6,262.66	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第1四半期	3,843	2,193	57.1
25年2月期	3,753	2,223	59.2

(参考) 自己資本 26年2月期第1四半期 2,193百万円 25年2月期 2,223百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	4,000.00	4,000.00
26年2月期	—	—	—	—	—
26年2月期(予想)	—	0.00	—	45.00	45.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

26年2月期(予想)の1株当たり配当については、株式分割後の額を記載しております。

当社は、平成25年4月4日開催の取締役会において、株式の分割及び単元株制度の採用について決議し、平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株へ分割し、単元株式数を100株とすることとしております。株式分割を考慮しない平成26年2月期の配当予想は4,500円となります。

3. 平成26年2月期の業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,550	0.9	25	△83.1	20	△86.1	5	△93.4	633.23
通期	7,850	7.0	230	△23.4	220	△24.4	75	△34.6	94.98

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成26年2月期の通期の業績予想における1株当たり当期純利益については、株式分割後の額を記載しております。

当社は、平成25年4月4日開催の取締役会において、株式の分割及び単元株制度の採用について決議し、平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株へ分割し、単元株式数を100株とすることとしております。株式分割を考慮しない平成26年2月期の業績予想における通期の1株当たり当期純利益については9,498円48銭となります。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年2月期1Q	9,750 株	25年2月期	9,750 株
----------	---------	--------	---------

② 期末自己株式数

26年2月期1Q	1,854 株	25年2月期	1,854 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年2月期1Q	7,896 株	25年2月期1Q	7,896 株
----------	---------	----------	---------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、大幅な金融緩和の効果もあり、円安と株高が進行しました。輸出企業を中心として業績の改善が見込まれるなど、新たな経済政策への期待感が高まっておりますが、実体経済における景気回復が今後の課題となっております。

小売業界におきましては、所得環境の改善など消費者が実感できる回復には到らず、依然として節約志向や、価格と品質のバランスを重視した消費動向が続き、経営環境は厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社は、「METHOD事業の販売力の向上」と「流儀圧搾事業の収益構造の改善」に取り組み、業績の向上を目指してまいりました。

販売面におきましては、METHOD事業では、接客サービスの向上によりプロパー販売の強化を進め、また、商品構成の見直しとして、ボトム・雑貨等の強化に取り組んでまいりました。その結果、METHOD事業における既存店客単価前年比は101.7%と前年を上回りましたが、商品構成の見直しは具体的な成果を出せず、また、既存の客層の中でも30代の顧客に対応する商品の拡充を徹底できなかったこともあり、既存店客数前年比は87.8%、既存店売上高前年比は89.3%となりました。

流儀圧搾事業では、ブロック長として各エリアの統括を担う店長が、プレイングマネージャーとして自店舗の収益改善を行い、その成果を各店舗へ普及することを目指しましたが、現段階では具体的な数値改善を進めることができず、今後更なる徹底を図ります。また、常連顧客に対応できる変化のある品揃えが不足したこともあり、流儀圧搾事業の既存店売上高前年比は88.2%となりました。

以上の結果、全社の売上高前年比は93.9%、既存店売上高前年比は89.0%となりました。

商品面におきましては、品質の向上と荒利率の改善をテーマとして取り組んでまいりました。品質の向上につきましては、外部のコンサルタントによる指導を受けており、新たな品質管理のノウハウを、自社に定着させる取り組みを進めております。

荒利率の改善につきましては、プライス設定の見直し、プロパー販売の強化を進めるとともに、適時適量な商品仕入れに取り組んでまいりましたが、在庫コントロールの徹底不足や原価上昇などの要因もあり、当第1四半期累計期間の売上総利益率は50.4%と、前年を0.8ポイント下回りました。

店舗戦略におきましては、「METHOD」3店舗、「流儀圧搾」4店舗、合計7店舗の新店を出店する一方で、「METHOD」1店舗を閉店いたしました。その結果、当第1四半期累計期間末の店舗数は「METHOD」42店舗、「流儀圧搾」32店舗「METHOD COMFORT」2店舗（アウトレット店）、「AGIT POINT」1店舗、「誓文払い」1店舗（アウトレット店）の合計78店舗となりました。

また、既存店の販売力の強化を図るため「METHOD」3店舗の改装を実施いたしました。

新規事業につきましては、前期の3月にスタートしたネット販売事業は順調に推移し、また、前期の10月にスタートしたシンガポールの卸売事業も着実な販売を続けており、今後の成長を目指してまいります。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は16億79百万円（前年同期比6.1%減）、営業損失は6百万円（前年同期比108百万円の損失増）、経常損失は8百万円（前年同期比107百万円の損失増）、四半期純損失は3百万円（前年同期比52百万円の損失増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は22億32百万円となり、前事業年度末に比べ55百万円減少いたしました。これは主に売掛金の増加1億11百万円、商品の増加1億95百万円、現金及び預金の減少3億65百万円等によるものであります。固定資産は16億11百万円となり、前事業年度末に比べ1億45百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産の増加1億9百万円、敷金及び保証金の増加29百万円等によるものであります。

この結果、総資産は38億43百万円となり、前事業年度末に比べ90百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は13億21百万円となり、前事業年度末に比べ1億42百万円増加いたしました。これは主に支払手形の減少60百万円、買掛金の増加2億8百万円等によるものであります。固定負債は3億28百万円となり、前事業年度末に比べ22百万円減少いたしました。これは主に資産除去債務の増加14百万円、長期借入金の減少29百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は16億50百万円となり、前事業年度末に比べ1億19百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は21億93百万円となり、前事業年度末に比べ29百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失3百万円の計上及び剰余金の配当31百万円の支払い等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期の第2四半期（累計）及び通期の業績予想につきましては、本日（平成25年6月27日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年 2 月 28 日)	当第 1 四半期会計期間 (平成25年 5 月 31 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,184,313	819,012
売掛金	223,514	335,448
商品	794,008	989,320
繰延税金資産	41,687	47,756
その他	48,295	44,446
貸倒引当金	△3,076	△3,094
流動資産合計	2,288,742	2,232,890
固定資産		
有形固定資産		
建物	873,794	955,274
減価償却累計額	△561,094	△562,787
建物（純額）	312,699	392,487
工具、器具及び備品	180,106	235,520
減価償却累計額	△92,602	△101,661
工具、器具及び備品（純額）	87,503	133,859
建設仮勘定	16,257	105
有形固定資産合計	416,460	526,452
無形固定資産		
ソフトウェア	22,094	20,604
リース資産	57,840	50,610
その他	3,150	3,150
無形固定資産合計	83,084	74,365
投資その他の資産		
投資有価証券	62,379	69,844
長期貸付金	70,140	69,363
長期前払費用	11,146	14,881
繰延税金資産	34,844	38,664
敷金及び保証金	857,256	886,899
貸倒引当金	△70,140	△69,363
投資その他の資産合計	965,626	1,010,290
固定資産合計	1,465,171	1,611,108
資産合計	3,753,914	3,843,998

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年 2 月28日)	当第 1 四半期会計期間 (平成25年 5 月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	117,241	56,851
買掛金	192,297	400,356
短期借入金	220,000	220,000
1年内返済予定の長期借入金	184,892	168,652
リース債務	31,584	31,027
未払費用	171,947	180,040
未払法人税等	60,717	6,460
賞与引当金	54,300	81,850
役員賞与引当金	10,460	5,615
設備関係支払手形	38,677	135,888
資産除去債務	7,161	—
その他	89,648	34,706
流動負債合計	1,178,927	1,321,447
固定負債		
長期借入金	140,002	110,019
役員退職慰労引当金	31,565	31,565
リース債務	24,579	17,335
資産除去債務	155,088	169,658
固定負債合計	351,235	328,577
負債合計	1,530,162	1,650,025
純資産の部		
株主資本		
資本金	245,000	245,000
資本剰余金	415,193	415,193
利益剰余金	1,699,899	1,665,315
自己株式	△150,446	△150,446
株主資本合計	2,209,645	2,175,061
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	14,106	18,911
評価・換算差額等合計	14,106	18,911
純資産合計	2,223,752	2,193,972
負債純資産合計	3,753,914	3,843,998

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)
売上高	1,789,037	1,679,375
売上原価	872,220	832,918
売上総利益	916,817	846,456
販売費及び一般管理費	815,196	853,419
営業利益又は営業損失 (△)	101,621	△6,963
営業外収益		
受取利息	456	441
貸倒引当金戻入額	593	758
雑収入	475	61
営業外収益合計	1,525	1,261
営業外費用		
支払利息	4,695	3,149
営業外費用合計	4,695	3,149
経常利益又は経常損失 (△)	98,450	△8,850
特別損失		
固定資産除却損	—	2,995
店舗閉鎖損失	—	105
減損損失	5,588	—
特別損失合計	5,588	3,100
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	92,861	△11,951
法人税、住民税及び事業税	5,580	3,600
法人税等調整額	37,831	△12,550
法人税等合計	43,411	△8,950
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	49,449	△3,000

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社は、衣料品小売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。